

平成 26 年度第 2 回浦安市文化財審議会議事録（議事要旨）

- 1 **開催日時** 平成 26 年 7 月 16 日（水） 午前 10 時～12 時
- 2 **開催場所** 郷土博物館 視聴覚室
- 3 **出席者**
（委員）平野委員長、杉山副委員長、丸山（光）委員、丸山（純）委員、吉田委員、大塚委員、菊池委員
（事務局）黒田教育長、石田生涯学習部長、永井生涯学習部次長、飯塚館長、島村、林（記）
（傍聴人）なし

4 議 事

- 委員改選に伴う委嘱状の交付
- (1) 史跡表示板 4 基の修復について
 - (2) 史跡表示板(豊受神社「富士塚」)原稿確認について(検討)
 - (3) 「もっと知りたいふるさと浦安展」(準備中)の視察及び意見聴取
 - (4) その他

5 会議経過

会議に先立ち、委員改選に伴う委嘱状の交付を行った。黒田教育長より、各委員に委嘱状が手渡された。

その後、全委員の自己紹介を行った。

黒田教育長の挨拶後、委員互選により、委員長に平野敏則氏、副委員長に杉山徳生氏が選出された。委員長・副委員長の挨拶後、議事に入った。

(1) 史跡表示板 4 基の修復について

配布資料に基づき、事務局より説明した。

主な質疑・応答は、下記のとおり。

(委員) ベースの文字が書かれている部分の材質、仕様は何か?

(事務局) 今手元に資料なく、正確に材質名をお答えできないので、後ほど確認をしてお知らせする。

→ 会議終了後、仕様書を確認し、「超耐候性シート」と呼ばれるものに、文字を転写したものであることを説明した。

(委員) 「江川」について、船溜まりが映った航空写真が出てきたため入れたとのこと。非常にわかりやすくなり、よかったと思う。

(委員) 耐用年数的には 4 基とも同様になると考えてよろしいか?

(事務局) はい。直射日光のあたるところと、そうでないところで傷み具合が変わってくるのだが、10 年くらいは維持できるだろうとのこと。

(委員) これまでの経緯を知らないのだが、これからも何基かずつ更新していく

予定なのか?

(事務局) これまで数年かけて、文字が読めないような状態になっている表示板について修復するために、説明文の検討を文化財審議会において行ってきたのだが、次の議題である豊受神社の富士塚が最後になる。傷みも少ないものまでを直していくということは、考えていない。

豊受神社以外に、稲荷神社と清瀧神社にも「富士塚」の表示板はあるのだが、直射日光が当たる豊受神社のものだけが、文字が読みにくい状態となっている。そのため、豊受神社のみを今年度修復し、他のものについては、傷みが出た段階での修復を考えている。

(2) 史跡表示板(豊受神社「富士塚」)の原稿確認について(検討)

配布資料をもとに、事務局より説明した。

主な質疑・応答は、下記のとおり。

(委員) 最後の段落「大正から昭和の初めころまで、浦安の富士講は大変盛んで」という文章があるが、このころ浦安は豊かな町であった証拠の一つと考えてもよいか?

(委員) 私は、この神社の裏に住んでいたため、子どもころからの遊び場だった。当時は、豊受神社を「神明様」と呼んでいた。

大三角線を開通させるにあたって、地盤のかさ上げなどが行われたため、山も多少低くなったのではないかと思う。私が子どもころには、木がもっと茂っていて、カラス天狗の銅像があり、真っ暗で、大変怖かった。今見るとそうではないが、中が洞窟のようになっていて、「そのなかに入ると出られなくなる」と、親からよく注意を受けたものである。いたずらをしないようにということだったのだと思うが、子どもころは、「山に登ると、天狗に連れていかれるぞ」などと、脅かされたものである。

(委員) 7行目「各地にたくさんの富士塚がつくられました」とあるが、たくさんとはどこを指すのか?

(事務局) 都内にも、千葉県内にも、富士塚は結構残っているが、研究者のなかでも浦安の富士塚は大きいほうであると言われている。

(委員) 大正12年につくられたとのことだが、関東大震災前につくられたということか? そうだろうと思うが、震災のことを一言入れてもいいのではないか。

(※ 後日確認したところ、記念碑には「大正12年6月30日」と刻んであった)

(委員) 私の代では、6月に神楽を奉納したということは見たことも聞いたこともない。親から聞いた話では、6月は田植えの時期で豊作を祈る行事があり、そういうときには夜店がたくさん出て、大杉(江戸川区)や四ツ木(葛飾区)の方から、泊りがけで来てもらってお神楽囃子や面かぶりをした芝居のようなものやっていたということを聞いたことがある。

豊受神社の本来の祭りは、10月14・15・16日に行われていたが、この時期は漁業(海苔)の仕込みにぶつかるため、6月になったといわれている。

(委員) 私は、清瀧神社のすぐそばに住んでいたのだが、清瀧神社でも舞台が作られて神楽が行われていたが、やはり秋だったと思う。

(委員) 富士塚は、稲荷神社・清瀧神社にもあるのか？ 史跡表示板も、3ヶ所ともあるのか？

(事務局) ある。文面についても、ほぼ同じ内容。つくられた時期などが違う程度である。

(委員) 「富士塚」「富士講」「手甲脚絆」「菅笠」など、振り仮名をもう少し丁寧につけた方がよい。

(事務局) 再度全文を確認して、丁寧にルビをつけることとする。

(委員) 前のものと比べて文章が増えて詳しくはなったが、文字の大きさはどうなるのか？ あまり字が小さくなってしまうと、読んでもらいにくくなるのではないか。

(事務局) 表示板そのものの大きさが決まっているので、文章量が増えると、少し文字が小さくなってしまう。

もう少し短くすることを検討してもみたのだが、削るとするならば、後半の山開きの部分かと思う。3つの神社すべてに富士塚があることや、いつどういう経緯で作られたものなのかということの方が情報としては重要なので、最後の6月30日の行事のことを削って調整するしかないのではないか。考え方次第で、どこを削るかが変わってくるので、ご意見を賜りたい。

(委員) 文章の最後の「すたれていきました」という言葉は、あまり印象がよくないので、前の文章の「影をひそめている」という表現の方がいいのではないか？

(事務局) 事務局としても、悩んでいるところである。現在も細々ながら継続しているのであれば、「影をひそめている」でいいのだが、今は全くなくなってしまっているものなので、この表現は合わないと思い、言葉を変えてみた。何かよい表現はないものか、ご意見を賜りたい。

(委員) 今は、全くなくなってしまったのか？

(事務局) 他の地域では存続しているところもあるが、浦安では行われていない。

(委員) シンプルに、「今日では、ほとんど行われていません」でいいのではないか。

(委員) 将来的には、表示板にQRコードをつけて、 아이폰やスマホをかざすと、詳しい説明がでているページを見ることができ、さらにまた先へリンクできる、というようなシステムをつくとよい。奈良などは、実際にもう盛んに利用されている。子どもたちは、むしろそういう方が得意だから、学ぶきっかけになるのではないか。システムを委託したりす

るとお金がかかるのでそれは検討事項になるが、表示板を作り替えたり、増やしたりする費用を考えれば、検討してもよいのではないか。

(委員) 最後の「すたれている」という表現さえ変えれば、あとは事務局にお任せして、この文案の内容で進めてしまってよいと思う。

(委員) 先ほど、3つの神社に富士塚があるという話であったが、市内の神社すべてにあるということなら、事例としては大変面白い。それだけ盛んであったということなので、「すべての神社にある」ということを入れた方がよい。

また、文字数についてだが、展示パネルなどもそうであるが、学芸員のたくさんの情報を網羅したいという気持ちはわかるのだが、字が小さくなると読む気もなくなってしまふ。修復が済んだ清瀧弁財天や町役場跡の写真をみても文字が小さいように感じるので、やはりもう少し文章を整理して、短くするのがよいのではないか。

(委員) 現在のものと新案の原稿を比べてみたとき、文章の内容よりもまずは文字の大きさが気になった。

昨年度富士山が世界文化遺産に登録されたが、この新案の原稿には文化遺産として登録された理由などがしっかりすべて入った内容になっていて、よい印象も受けた。お子さんや年配の方など、読む人の年齢によって感じ方は異なってくるのだろうが。

(事務局) 6行目「お参りにいくことができないような人でも」の「ような」と、8行目「浦安に富士講ができたのは明治初年ごろと言われていますが」を削除できるかと思うので、少し短くできる。

さらに最後の段落も、「神楽が奉納され、境内は露店が立ち並んでにぎわいました」までで、そのあとの手甲脚絆で山開きに出かけたという内容は削除して短くしたい。

(委員) 文化遺産として認められた富士山なので、「このような衣装を着て、身を清めて登る」というような民俗的な情報は削除せずに残しておきたいところである。

(委員) 2行目の神社名のところで、「猫実」「堀江」「当代島」はなくてもわかるのではないか。数文字だが、削ることができる。

(委員) 市外から来る方も見ると思うので、地名があった方が親切かと思う。

(事務局) はい。今気づきましたが、当代島・猫実・堀江の順番にしているが、一番先に「猫実の豊受神社」を持ってきて、「堀江の清瀧神社」→「当代島の稲荷神社」という順序に変更しようと思う。さらに、さきほどご意見いただいたように、「すべての神社」ということも入れて訂正したい。

(委員) 順番は、昔から「猫実→堀江→当代島」と言っている。

(委員) 私は、「堀江→猫実→当代島」ではないかと思うが。

(委員) 猫実に住んでいらっしゃる人にとっては、「猫実→堀江→当代島」なのかもしれない。

(委員) 表示板となると、地域の人にとって、この順番は結構重要な問題なのかもしれない。

(委員) 今回の場合は、豊受神社の表示板なのだから、豊受神社を一番先に表記して、そのあと、堀江、当代島と続けるのがよいだろう。

(委員) 他の神社の表示板を変えるときには、その神社を一番先頭に持ってきて、順番を変えればよいのではないか。

(事務局) そのようにする。

(委員) 「おらが町が一番だ」という気持ちがどうしてもあるからね。

(委員) もう一つだけ付け加えたいところがある。後半の「手甲脚絆と菅笠をかぶった姿で」のところに、「富士登山と同じ姿で」と加えたい。

今、世界遺産になり、富士山に登る人も多いので、昔は体を清めて登ったのだということを伝えたい。富士山に登るときと同じように、身を清めて白い装束を来て、富士塚にも登ったのだということを入れた方がよい。事務局で、検討してみしてほしい。

(委員) では、そろそろ意見も出尽くしたと思うので、事務局に検討いただければと思う。

(事務局) 次回の会議までに、今回いただいた意見をもとに文案を作りなおして提案する。

(3) 「もっと知りたいふるさと浦安展」(準備中)の視察及び意見聴取について

企画展示室を見ていただき、昨年度の作品などを鑑賞いただいた。
改善すべき点について、特に意見はでなかった。

(4) その他

■ 次回の会議

第3回浦安市文化財審議会は、11月19日(水)を予定。

以上をもって、平成26年度第2回浦安市文化財審議会は、閉会した。